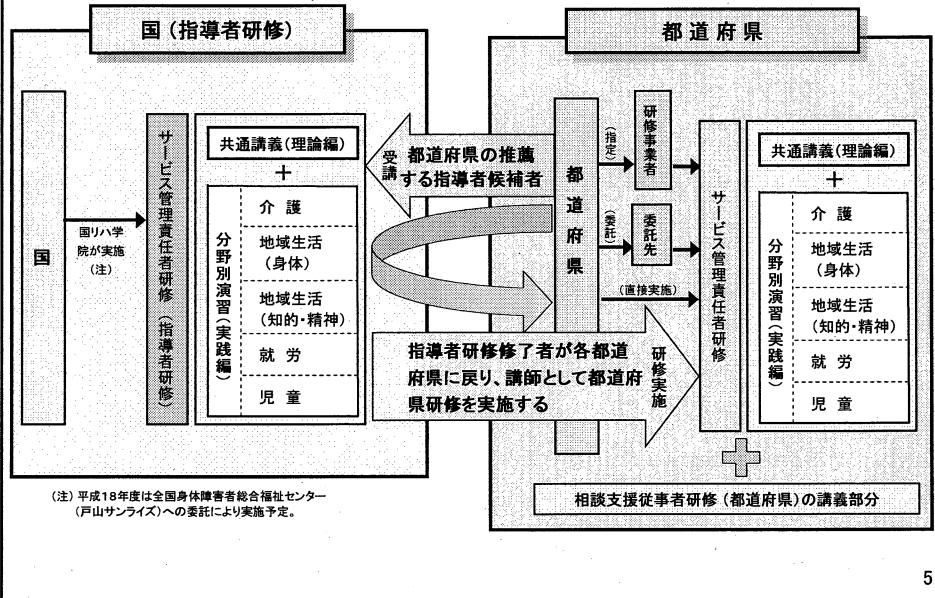


「サービス管理責任者研修会」の全体イメージ



5

国と都道府県のサービス管理責任者研修について

1. 指導者研修（国研修）

- ① 実施主体 国
- ② 研修の期間等
 - ・ 3日間程度
 - ・ 講義及び演習による
- ③ 費用負担
 - ・ 教材費等は受講者負担

2. サービス管理責任者研修（都道府県研修）

- ① 実施主体 研修事業者
 - ・ 事前に、研修事業者が申し出た上で、都道府県が一定の要件に該当する研修事業者を選定
 - ・ 当面、都道府県自らが実施することも可
 - ・ 経過措置により、一定の実務経験を有することをもちてサービス管理責任者としての業務を行う者については、優先して研修を受講
- ② 研修の期間等
 - ・ 個別研修（講義・演習）3日間程度
- ③ 費用負担
 - (ア) 研修事業者が実施主体となる場合
 - ・ 研修事業者ごとに定める額
 - (イ) 都道府県が実施主体となる場合
 - ・ 18年10月から、都道府県地域生活支援事業により、研修会開催費用の一部を補助
 - ・ 教材費等は受講者負担

6

研修会日程

	9:00～10:00	10:00～11:00	11:00～12:00	昼	13:00～14:00	14:00～15:00	15:00～16:00	16:00～17:00
1 日 目	開 講 式	障害者自立支援法とサービス管理責任者の役割(2H)			全体講義(各分野共通) 「サービス提供のプロセスと管理」(2H)		「サービス提供者と関係機関の連携」(2H)	
2 日 目	分野別講義(分野別に実施) 「分野別のアセスメント及びモニタリングの実際」(3H)				演習(分野別に実施) 「サービス提供プロセスの管理の実際:事例研究①」(4H) (アセスメント編)			
3 日 目	演習(分野別に実施) 「サービス提供プロセスの管理の実際:事例研究②」(3H) (個別支援計画編)				「サービス内容のチェックとマネジメントの実際」(3H) (事例検討会)		閉 講 式	

7

「講義」と「演習」の内容

全体講義(各分野共通)

○「障害者自立支援法とサービス管理責任者の役割」

※障害者自立支援法における各事業の機能とサービス内容、サービスの質を確保するために必要なサービス管理責任者の基本的な役割について解説。また、こうした人材を各都道府県で育成していくための都道府県研修のあり方についても解説する。

○「サービス提供のプロセスと管理」

※サービス提供のプロセス全体を解説するとともに、サービス管理責任者がそのプロセスにどのように係わるかを具体的に解説。

○「サービス提供者と関係機関の連携」

※実際のサービス提供現場において、事業者又はサービス提供職員とそれを取り巻く様々な関係機関等とのネットワーク構築の事例を報告。(就労か地域生活の事例を通じた報告を想定)

分野別講義(分野別に実施)

○「分野別のアセスメント及びモニタリングの実際」

※個別支援計画の内容を左右するアセスメントやモニタリングの考え方については、分野別の特殊性が大きく、また、分野によってサービスを提供する上で重視される基本的姿勢が異なることから、分野別のアセスメント等の技法や特に配慮しなければならないポイントについて解説。

8

演習(分野別に実施)

○「サービス提供プロセスの管理の実際：事例研究①」(アセスメント編)

※標準的なサービス提供のプロセスに沿って支援が実施された分野別の事例に基づき、支援方針の基本的な方向性やサービス内容を左右する以下の項目に重点を置いて演習を展開する。

- ・正確な利用者像の把握のために必要となるアセスメントの実際について検討
- ・時間軸の設定(標準的な支援モデルを参考に達成に要する期間を設定)
- ・短期目標や到達すべき目標(ゴール)などの段階的な目標設定の必要性

○「サービス提供プロセスの管理の実際：事例研究②」(個別支援計画編)

※事例研究①と同様に、分野別に障害内容等の異なるより困難な事例を用いて、アセスメント結果がすでに明らかとなっている状況から、以下の項目に重点を置いて演習を展開する。

- ・アセスメント結果に基づき、正確な個別支援計画書を作成
- ・サービス開始後のモニタリング結果を踏まえ、個別支援計画書を適切に修正
- ・次のステージへの移行も想定した終了時評価の実施

○「サービス内容のチェックとマネジメントの実際」(事例検討会)

※事例集に掲載された「標準的なサービス提供事例」を発展的に検証することで、グループメンバーの所属自治体独自のサービスや社会資源等の実情を踏まえた上で、異なる連携のあり方を具体的にイメージしながら、掲載事例とは異なる支援の可能性を模索する。

また、単なるサービス論とは異なる視点から、サービス提供職員に対する一層効率的なマネジメントをとおして目標到達期間の短縮などの可能性についても検証し、最後にサービス管理責任者としてのスタンス等の視点から全体発表を経て演習を総括する。